

# 戦争で失ったもの

～戦前の活気から戦中の悲しみから戦争後の被害～

私達は、福山市の川口小学校の四年生です。総合的な学習で「平和な世界にする」という目標に向けて、平和資料館へ見学に行きました。原爆の恐ろしさ、平和の大切さを知りました。だから、戦争をなくすために、今回この資料にまとめました。

# ～目次～

- 1 戦争前の街並み
- 2 戦争で失った建物
- 3 原爆による後遺症
- 4 この資料を通して

# ～戦争前の街並み～

戦争をする前の広島は元々商店街や映画館、旅館などが立ち並ぶにぎやかな町でした。

原爆ドームに原爆が投下される前は広島県商品陳列所で、広島県の産物を販売していた施設です。今の悲惨な原爆ドームとなってしまいました。



戦争前の街



戦争前の  
原爆ドーム

## ～戦争で失った建物～

昔は広島県商品陳列所だった建物は、ボロボロになってしまい、残ったのは数件しか残っていませんた。

被爆前の建物7万6327件のうち、原爆により5万1780件が焼けくずれ住めなくなった建物は6180件でした。

街とともに壊された鉄骨の梁



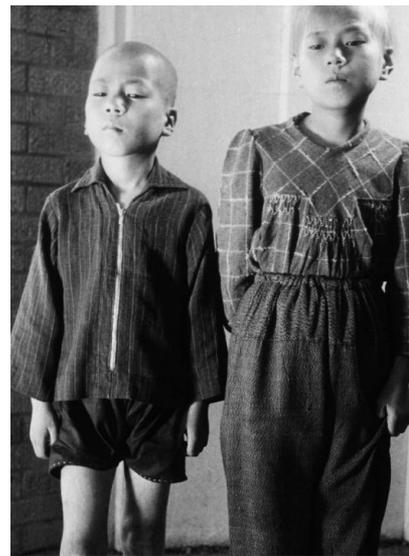
鉄骨とは  
鉄材の骨組み

## ～原爆による後遺症～

原爆が落ちたときに、たくさんの放射線が降り注いだ。放射線を浴びると人間の細胞を少しずつはかいていきます。しょうじょうが、すぐに出る人もいれば10年後に出る人もいます。

原爆で亡くなった人の多くのげんいんは、放射線による原爆症という病気です。原爆症には、斑点がでたり急に血を吐いたりと様々な症状があります。

原爆症は放射線によって心も体もむしみ、壊してしまう恐ろしい病気です。



## ～まとめ～

このように、核兵器は、人、動物、植物、建物など、多くの生き物の命、大切な物をうばってしまいます。生き残った人は、怒りや辛さ、悲しみををあたえるおそろしい兵器です。核兵器を使うことで、1人2人ではなく、多くの人々の心と体をうばいます。だから、みなさんも平和について自分事として考えてみませんか。